

看護いばらき

No.119

2018年1月23日

+

公益社団法人
茨城県看護協会
Ibaraki Nursing Association



CONTENTS

- 2 新年のあいさつ
- 4 戌年～年男・年女あつまれ～
- 5 病院における看護師長が担うべき役割
- 6 訪問看護入門プログラム研修
- 7 地域包括ケア病棟の紹介～取手北相馬保健医療センター医師会病院～
- 8 平成30年度診療報酬・介護報酬改定説明会
- 9 すこやか妊娠ほっとライン
- 9 プレパパ・パパ応援団のブログ開設中！
- 10 訪問看護ステーション出向研修成果報告会を開催しました
- 10 日本看護協会ホームページ「入会のご案内」に関する Web コンテンツをリニューアルしました
- 11 平成30年度改選役員、推薦委員及び平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員への立候補について
- 12 日本看護協会のロゴマークが新しくなりました
- 12 平成29年度理事会報告

会員数(平成30年1月7日現在)

合計 **14,252人**

保健師 342人

助産師 515人

看護師 12,339人

准看護師 1,056人

成年 新年のご挨拶



公益社団法人 茨城県看護協会
会長 相川 三保子

創立 70 周年の節目のときを迎えて

年頭にあたりご挨拶申し上げます。

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかに、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、職場や訪問先等で新年と仕事始めを同時にお迎えの方々、心より敬意を表し感謝申し上げます。

平成 30 年度を目前にして、いよいよ地域包括ケア実現に向けた変革の時となりました。少子超高齢社会、多死社会に看護職がどのように役割を担っているのか大事な局面を迎えました。持続可能な社会保障制度改革も着実に進んでおり、社会の動向を鑑み、新年度の重点事業・事業計画を熟考しているところでございます。

平成 29 年度に掲げ取り組んだ 4 つの重点事業（①少子超高齢社会に対応する人材育成②健康で安全に働き続けられる労働環境改善の推進③地域包括ケアにおける看護提供体制の構築④組織力強化）も終盤に入りました。特に第 48 回日本看護学会—在宅看護—学術集会を 9 月につくば国際会議場で開催し、盛会に終わることができました。多くのご支援ご協力を賜った関係の皆様に関心より感謝申し上げます。

今、茨城県の看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業者数は、29,319 名であり人口 10 万対比では全国 43 位となりました。生産人口が減少する中、本会では、看護職を目指す人材の確保、看護の質の向上を図るための研修、誇りとやりがいを持って働き続けられる環境づくり、県民とともに安心できる保健、医療、福祉に貢献すること等を目的に事業を進めており、何より人材の確保が重要課題となっております。離職した看護職の届け出制度の活用、e ナースセンターへの登録等により、切れ目のない就業・キャリア支援も実施しております。是非看護協会ナースセンターへご一報下さい。

少子超高齢社会を看護職としてどう支えていけるか、その一翼を担えるよう、14,246 名の会員の皆様の看護の力を結集し、他団体、多職種の方々と共にしっかり課題に取り組んで参ります。皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、ご健康に留意され、皆様のますますのご活躍を祈念するとともに、本年が良い年でありますようにお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。



「ともに生きるをめざして」

専務理事 白川 洋子

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。専務を拝命してから1年半が過ぎ、皆様から様々なことを学びながら課題に取り組むことが出来ましたのは、会員の皆様とのふれあいや支援があったからと感謝申し上げます。

本年は当協会が70周年を迎える年となります。この長きにわたる諸先輩方のたえまない努力により現在の私たちが在ることを忘れてはなりません。その結果、看護職の地位が向上して参りました。その一方で少子超高齢化社会の到来により看護が果たす役割や期待は大きくなってまいります。世界のどこも経験したことのない社会の変化に遭遇した今、その役割期待をしっかりと受け止め、人々が住みなれたところで最期まで看続けることができる看護を社会に示していくことが求められております。

この一年は2025年に向け、社会変化に柔軟に対応し看護の可能性を広げていける年にしたい決意であります。

最後に会員の皆様の一人ひとりにとり、実り多き一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



「看護職の人材＝人財を大切に！！」

常任理事 大槻 解子

新年あけましておめでとうございます。

昨年日本看護学会一在宅看護一学術集会では、全国はもとより、県内からも多くの演題発表を頂きました。学会当日の2日間においても多数の看護職にご参加いただき有難うございました。

さらに、学会運営にあたりまして準備委員、抄録選考委員、協力員、企業出展他、関係者の皆様に多大なご支援、ご協力を頂きましたことをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

2018年を迎え、日本の社会は少子超高齢社会がさらに進んで行きます。地域包括ケアの実現に向けた医療・介護提供体制の見直しが動きだしました。

このような変化の中であって、これから必要とされる看護の人材は急性期医療に加え在宅医療まで支えられる人材、そして地域・施設間の連携に参画できる人材であると言われています。人材＝人財であり、この宝物である「人財」を大切に、看護職の生涯学習を支援していきたいと思ひます。

教育研修では今年も、新しいメニューを追加して内容を組み立てました。より多くの看護職の皆様の参加をお待ちしております。



「看護職へ切れ目のない支援の継続」

常任理事 海老澤 幸子

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え“今年こそは”と心新たに目標を掲げた方も多いことと存じます。

2025年超高齢社会に向け、地域包括ケアシステムの構想が進められている今日、看護職の役割についても変化が期待される時代となりました。そして人材確保は増々重要になる事が予想されているところです。看護職人材確保のため、働く環境改善への取り組み支援は今後も継続して行なって参りますが、潜在看護職及び定年退職者の方々が、その人に合った柔軟な働き方等が可能な体制の推進に取り組み、就業喚起を図りたいと考えております。

また、昨年度ナースセンターでは「看護職へ切れ目のない支援を目標に」に取り組んで参りました。届出制度は退職時に申請を行っていただき、その後就活のためナースセンターにも届けていただくシステムとなっております。当ナースセンターは就業支援のため半年毎に状況調査を行っておりますが、期待した回答数を頂く事に繋がりませんでした。登録をお願いするとともに、今年も切れ目のない支援の継続を目標に取り組んでまいります。どうぞナースセンターをいつでもご利用ください。よろしくお願い申し上げます。

戌年 ～年男・年女あつまれ～

☆戌年生まれの方☆

とても愛情が深いですが、表面的にはシャイなタイプなため、派手なことや社交的なことは好みません。自然と弱者を助けるため、自然に信頼を集め、リーダー的な存在にも適しています。

土浦協同病院
なめがた地域医療センター

沼田 早苗

『新年の抱負』

今年は、仕事もプライベートでも変革の年。何事にも柔軟に対応できるように、日々成長していけるよう、がんばりたいと思います。



きぬ医師会病院

飯島 林子

『新年の抱負』

今年は還暦という、人生の節目の年でもあります。地域の方とのふれあいを大切にしながら、がんばっていきたいと思っています。



立川記念病院

堀 紗矢香

『新年の抱負』

目の前の看護業務をこなすことに精一杯な日々を送っていましたが、2018年は視野を広げていき、新しいことに挑戦する1年にしていきたいです。



茨城西南医療センター病院

永塚 麻奈美

『新年の抱負』

努力をして得られた宝物がたくさんあります。これからも宝物が増えるよう頑張っていきたいと思います。



いちほら病院

塚越 美香

『新年の抱負』

今年も健康に注意し、忙しいなかでも充実した1年になるように頑張りたいと思います。



守谷慶友病院

高橋 まゆ子

『新年の抱負』

子育てと仕事の両立で忙しい毎日です。がんリハビリテーションチームの一員として、さらに、患者さんの心に寄り添えるような看護実践を行っていきたくと思っています。



■戌年の主な有名人

羽生結弦

大谷翔平

宇多田ヒカル

小栗旬

岡村隆史

秋元康

久本雅美

ドナルド・トランプ

瀬戸内寂聴

マザーテレサ

病院における看護師長が担うべき役割

開催日：平成 29 年 11 月 8 日

場 所：看護研修センター

受講生：53 名

◆研修目的：病院における看護師長の役割について理解し、現状の課題について看護師長間で情報共有を行い、自施設の看護の課題解決の糸口とすること。



佐久大学看護学部 吉川三枝子先生

平成 29 年度看護協会看護師職能委員会の企画研修である「病院における看護師長が担うべき役割」が開催されました。研修を聴講しながら取材をさせていただきました。

講師の吉川先生は、「看護師長は地域包括ケアや在宅、施設とのやりとりをしながらも自分の部下を守っていかなければならない。また、毎日のようにトラブル対応をしており、ストレス度は計り知れない。そんな看護師長を支えていきたい」と思い、看護師長の役割について自分の経験を含め、たくさんの引き出しがあるので多くのことを伝えたい」と話されました。会場を歩き、受講者の皆さんにインタビューをされて、熱く講義をして下さいました。

参加者の声

- ・どうしても見えにくいことがあり、周りに助けてもらって依頼することが大切なことだと自覚できた。自分ではなくて助けてもらうことが大切だと思った。
- ・組織は人で作られる。今いる人材を大事にすることが大切だ。スタッフのいいところを伸ばす。
- ・自分が必要だとされている職場作りが大切だということを勉強した。
- ・理念とか看護とかを可視化してスタッフに伝えていくことが大事だと思った。
- ・何かを始めるときには、データ化して説得力をもって伝達することで納得してもらうようにすることが大切だと思った。
- ・いいことを発信していると思ったけど、相手が理解できているかわからないので、表現方法を見直す。
- ・メンターの 9 割が師長ということで、見られていると感じた。
- ・自分たち師長もこのような講習会を通してつながりを持つことが大切だと思った。
- ・現場でのスタッフとのかかわりはできていると思うが、講義で学んだ知識が自分に不足していると思った。知識を増やして、スキルアップして現場にフィードバックして実践していく。
- ・一人ひとりのスタッフをよく見て伸ばしていきたい。



講義風景

取材者：鳥畑・小川

訪問看護入門プログラム研修

開催日:平成29年12月2・3日

場 所:看護研修センター

受講生:22名



ロールプレイ風景

今回、広報委員会で訪問看護入門プログラムの研修を取材しました。受講生は、病院、訪問看護ステーションで勤務している看護師や、専門学校の教員など22名が参加しました。

内容は、訪問看護の概論、実際の訪問看護の様子を訪問看護認定看護師によるロールプレイ後グループワークにて共有し、訪問看護の基礎知識を学ぶことができました。

講師の経験談や落語などもあり、笑いがたえず楽しい2日間の研修でした。

参加の動機

- ・ 高齢の入院患者が抑制されたりしている場面を見て、その人がその人らしく自宅で生活するためには訪問看護は重要なのではないかなと思ったから
- ・ 訪問看護師として、家族や利用者様へのアドバイスや関わり方を向上したいと思ったから
- ・ 訪問看護の実習担当になったので訪問看護の基本的知識や実習を通して学んだ方が良い視点など、学生指導に活かしていきたいと思ったから



グループワーク風景

参加者の声

- ・ なんといっても、角田先生の講義が楽しかったです。訪問看護認定看護師さんからも様々な困った事への対応方法などが聞けたので、訪問看護で頑張っていこうと思いました。
- ・ 訪問看護をもっとアプローチしていきたい
- ・ 訪問を始めて、3か月の自分のレベルにあった研修でとても良かったです。ロールプレイを見ることによって、一つ一つの行動の持つ意味を考える機会になりました。
- ・ いつか訪問看護やってみたいです

◎角田先生より

生活の場で看護することの楽しさをみんなが知ってくれて嬉しいです



取材者：守屋・岩瀬



地域包括ケア病棟の紹介



歴上からの風景～富士山～



取手北相馬保健医療センター医師会病院

茨城県取手市野々井 1926

Tel 0297-78-6111 (代)

地域包括ケア病棟 看護師長 飯塚 香

地域包括ケア病棟とは、手術や急性期の治療が終了した患者さまに対して、在宅に向けた医療や支援を行う病棟です。入院期間が 60 日と限定されたなかで退院指導を行います。

当病院では、平成 18 年に地域医療支援病院の認定を受け、平成 29 年 2 月に地域包括ケア病棟を開設しております。

病床数 50 床、在宅復帰を目指す患者さまの支援に重点をおき、多職種との連携を図り、早期にもとの生活に戻れるよう支援しております。

目標は、「退院支援を行うことにより、安心した日常生活が過ごせる」と掲げ取り組んでおります。

現在 10 ヶ月が過ぎ病床稼働率は平均 42 床 在宅復帰率 80% を維持しております。

在宅復帰患者さまへは訪問看護、介護サービス等の利用を患者・家族に入院時より説明し、受け入れていただき、60 日間に退院指導を行っております。

特徴としては、入退院をくり返す患者さまを、本人・家族の意思、ライフスタイルを尊重して、QOL が向上できるようカンファレンスをもち、ケアを行い、訪問看護で予防的支援につなげています。

在宅看取りを受け入れられる緩和ケアを、緩和ケア認定看護師を中心に地域との連携を密に図り、家族・ご本人理解のもと行っております。



対象患者

1. もう少し経過観察が必要
2. 在宅に向けてリハビリが必要
3. 在宅での療養準備が必要



☆☆・すこやか妊娠ほっとライン・☆☆

「すこやか妊娠ほっとライン」では、妊娠・出産に関するさまざまな相談に応じています。
ひとりで悩まないで、まずは、お電話してみてください。

あなたの気持ちを整理するお手伝い、利用できるサービスや専門機関の紹介など、専門の相談員（保健師・助産師）が対応いたします。

「月経が遅れている・・・妊娠しちゃったかも」

「思いがけない妊娠・・・どうしよう・・・誰にも相談できない」

「つわりがひどくて辛い」

「お腹の子が無事育ってくれるか不安」

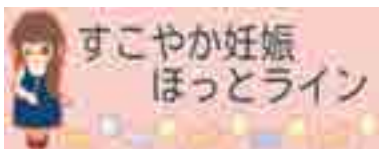
「産みたいけど育てられるか心配」

「緊急避妊について知りたい」など、さまざまな妊娠・出産に関する悩みをお受けいたします。
相談内容等あなたの秘密は厳守いたしますので、安心してご相談ください。

また、妊娠中または妊娠を望んでいるご主人様からの相談も受け付けております。



問い合わせ先



TEL 029-221-1124(いい妊娠)

月～金/10:00～18:00(土・日・祝日・年末年始を除く)



プレパパ・パパ応援団のブログ開設中!

「プレパパ・パパ応援団のブログ」を開設しております。現在、ママが妊娠中のプレパパさん、育児中のパパさん、ママと一緒に育児を楽しみませんか。パパ目線の育児を楽しく紹介しています。先輩パパたちの声をのぞいてみませんか。



<http://ameblo.jp/prepapa-papa2014/>



訪問看護ステーション出向研修成果報告会を開催しました



昨年度より実施されております、訪問看護ステーション出向研修には9病院から14か所の訪問看護ステーションへ21名の方が参加されています。

12月19日には、出向研修関係者や医療関係者60名にご参加いただき、訪問看護ステーション出向研修成果報告会を開催しました。

報告会では、今年度研修を終了した関係者11名より研修成果について発表がありました。

出向者からは、病院での看護との違いに戸惑ったが、入院前および退院後の「生活」の視点を学ぶことで、退院指導の在り方や多職種連携の重要性について考える機会となり、病院に戻ってからマニュアル等の見直しを行ったとの報告がありました。出向元管理者からは、訪問看護を経験したことによる出向者の変化や院内での波及効果、出向先である訪問看護ステーションと連携が強化されたことなどが報告されました。出向先管理者からは、一時的だが従事者が増え円滑な運営が行えたこと、出向者を受け入れるために事業所内の教育体制の見直しを行うきっかけになったこと、また出向者という新たな人材の入職により職員が刺激を受け良い影響があったとの報告があり、双方にとって有益な研修であったことがうかがえました。

本事業は、平成29年度で終了となりますが、病院と訪問看護ステーション間でこの取り組みが継続され、地域で看護人材を育成し活用する仕組み作りが推進されることを期待いたします。

日本看護協会ホームページ

「入会のご案内」に関するWebコンテンツをリニューアルしました



看護職の方々に、日本看護協会の事業や活動をより身近に感じていただくため、「入会のご案内」に関するWebコンテンツをリニューアルしました。

お持ちのパソコンやスマートフォンなどで気軽に閲覧できるようにするとともに、動画コンテンツをご用意し、個人の視聴はもちろんのこと集合研修などの場面でもご利用いただけるようにしました。

<http://www.nurse.or.jp/home/about/nyukai/index.html>

平成30年度改選役員、推薦委員及び 平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員への 立候補について

選挙管理委員長 駒館 佳子

平成 30 年 6 月 19 日（火）に開催される通常総会（会場：県立県民文化センター）で、平成 30 年度改選役員、推薦委員及び平成 31 年度日本看護協会代議員・予備代議員選挙を執行しますので、「立候補」と「推薦」についてお知らせいたします。

■改選役員と役職数

- 1 役員 9 名（任期 2 年）
副会長 1 人、専務理事 1 人、常任理事 1 人、職能担当理事 2 人（助産師、看護師）、
地区担当理事 4 人（水戸地区、日立地区、鹿行地区、取手・竜ヶ崎地区）
- 2 推薦委員 9 人（任期 1 年）
- 3 平成 31 年度日本看護協会代議員 7 人、予備代議員 7 人（平成 30 年 4 月 1 日から 1 年間）

■受付の方法

立候補される方は、本会会員 5 人以上の推薦を受けて、立候補届出書及び立候補推薦届を選挙管理委員長あてに届け出て下さい。

※立候補届出用紙等は、本会ホームページからダウンロードするか、茨城県看護協会事務局に申し出て下さい。TEL 029-221-6900

■宛先 〒310-0034 水戸市緑町3-5-35

公益社団法人茨城県看護協会 選挙管理委員長（親展）あて

■受付期間 平成 30 年 2 月 1 日（木）～ 2 月 15 日（木）必着
郵送の場合は当日消印有効

★日本看護協会のロゴがリニューアルされました★



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

これまで私たちは、ひとりひとりの患者と向き合い
病院看護を中心に、生きる力を引き出す技術を磨いてきました。

それは、揺るぐことのない誇りです。

けれど、いま、変わらなくてはなりません。

少子・超高齢化、医療費削減、在宅医療の増加により
看護の力は病院だけではなく、あらゆる場所で必要とされています。

最期までを、看護続けるためにも。

私たちはいま、「暮らし」というフィールドに立ち、
これまでなかった看護のかたちを実現させなければなりません。

地域全体を見渡せる、看護システムは。

安心して、在宅医療を選択できるためには。

問われているのは、看護職ひとりひとりが考え、行動すること。

もっと自由に。もっと強く。

未来に向け、求めあう手と手がしっかり届き結ばれるような環境を
新しく作り上げていきたい。私たちは、そう思う。

平成29年度 理事会報告

■第5回 12月15日(金)

【協議事項】

- 1 会館維持費積立資産について 承認
- 2 平成30年度重点政策・重点事業(案)について 承認
- 3 事業報告(7月～9月) 承認
- 4 上期監査報告 承認
- 5 予算執行状況について 承認
- 6 平成30年度見込み会員数(案)について 承認
- 7 第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会協賛金について 承認
- 8 平成30年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦(案)について 承認
- 9 平成30年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦(案)について 承認

【報告事項】

- 1 日本看護協会平成29年度第5回理事会報告
- 2 日本看護協会関東・甲信越地区別職能委員長会報告
- 3 地区意見交換会報告
- 4 平成30年度茨城県優良看護職員表彰について
- 5 第54回いばらき看護の祭典について
- 6 平成30年新年の集いについて

【看護いばらきNo.120予告】

- 茨城県看護研究学会
- 施設における対人スキル研修
- 特定行為制度に係る看護師紹介
など



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年は戌年です。
戌は愛情が深く、リーダーとして引っ張っていく力強さがあるとされています。
戌年にちなんで、皆さんも自立心を強くもち好奇心を旺盛に新たなことにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

広報委員一同